

(別紙 2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 2年 3月 14日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 鼎	特別養護老人ホーム エコトピア酒々井	介護老人福祉施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
①②見守り	①見守り支援ベット エスパシアシリーズ KA-N1570F ②バイネスト NC セット(無線)	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 2年 2月 28日	① 5台 ② 2台	
【介護ロボットの使用状況 (使用する業務・使用頻度等)】		
<p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>コールシステムに連動した見守り支援ベットや見守りセンサーを使用し、特に夜間職員配置が少ない時間帯に、歩行が不安定で歩き出すと転倒する危険があるご入居者に対し、起き上がろうとするときにコールが鳴るので、立ち上がる前に訪室でき、トイレへ誘導したり、今が夜であることを説明して再び横になっていただけのようになった。</p>		
【介護ロボットの導入効果 (導入による業務改善状況等)】		
<p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者 (利用者) の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>ご入居者が歩き出す前に駆けつけることができるようになり、いつ転倒するか心配していた職員の精神的負担がだいぶ経験されています。</p>		
【介護ロボットの不都合な点】		
<p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。</p> <p>ナースコールに連動しているので、ピッチに直ぐにコールを知らせてくれるが、コールが重なると気付くのが遅くなることがある。また、見守りセンサーの作動を示す明かりが気になる方が下り、シートで見えなくするようにしている。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 2年 3月14日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 鼎	特別養護老人ホーム エコトピア酒々井(ユニット型)	介護老人福祉施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	ハイトラストNCセト(無線)	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 2年 2月28日	4台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>夜間落ち着かず、居室を動き回られるご入居者でセンサーマットをまたいで歩き出してしまわれる方を対象に、ベッドのマット下に設置した。ベッドから起き上がった時点で把握できるようになり、転倒の防止につながっている</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>これまで、頻繁に転倒したり、転倒しそうになったりしていたが、職員数が特に少ない夜間を中心に、起き上がった段階で動きが把握できるので、転倒の数が大幅に減少した。職員も早い段階で対応できるので、転倒リスクが減ったと同時に職員の精神的な負担も減少した。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。</p> <p>センサーコールと連動しているため、複数のご入居者がコールを押した時、職員が持っているピッチが早くコールを押した方が先になるため気づくのが遅れることがある。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和2年2月28日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 松峰会	特別養護老人ホーム松峰苑	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	ハイネクスト センサーマット BSR03NCHL	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和2年1月21日	3台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>特別養護老人ホーム松峰苑の居室3部屋にて、令和2年1月22日より導入して、毎日使用しております。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>①高感度なセンサーマットの追加導入により、昼夜間の訪問回数が5割近く減りました。          ②ベッドからの離床を確実に把握することで、徘徊や転落のリスクも大幅に減少しました。          ③従来のセンサーマットよりも誤作動が少なく、不必要な見回りが減り、特に夜勤の介護職員の労力削減につながりました。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。</p> <p>①便利な機器ですが、台数が少ないので、対象者を選ぶのが辛いです。          ②使う方によっては、設定を変更する際のコツをつまむまでに時間がかかります。          ③便利な機器なので、出来れば全対象者に導入していきたいですが、金額面が不安です。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 2 年 3 月 18 日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 康和会	特別養護老人ホーム オレンジガーデン	介護老人福祉施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り機器	株式会社バイオシルバー ①見守り介護ロボット『aams』型式：B018-AAMSKS ②『bio next (バイオネクスト)』(無線)-人感センサーなし 型式：BSR03NRXHL	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 2 年 2 月 21 日	① 1 台 ② 1 台	
<p>【介護ロボットの使用状況 (使用する業務・使用頻度等)】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>① 利用者の呼吸、心拍を CW 室の PC から確認ができる。新規利用者や体調不良者に使用し。利用者の様子の見える化、エビデンス化を図る。利用者を選定し毎日使用している。</p> <p>② 利用者のベッドからの転落事故を防ぐため、機器と利用者の状況を鑑みながら選定し、毎日使用している。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果 (導入による業務改善状況等)】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者 (利用者) の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>① CW 室から、バイタル異常者の発見をできる為、訪室の回数を減らすことができるが、現在はバイタルの異常が出ていない。職員の精神的な負担軽減はヒヤリングにより確認出来ている。</p> <p>③ 利用者の転落事故につながる動作の初動で機器が感知し、アラートが鳴る為、訪室の回数を減らすことができている。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。</p> <p>① 台数が増えた時に、画面上の操作が混乱しないか懸念はある。</p> <p>② 体重が軽く、荷重が少ないと反応しないことがある。</p>		